

ルシファーとルシフェラーゼ：再考

生きるために発想を転換せよ：

戦闘的無神論（共産主義）という精神異常が起こっている

Greatchain

2022/08/25

モデルナのワクチンには、「ルシフェラーゼ」（発光酵素といわれる）という有害成分が含まれている。にもかかわらず、これを無視してワクチン投与が行われている、と私は昨年5月に書いた。<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210521.pdf>

これは SM-102 という暗号に隠された物質であるとわかり、翻訳の正確を期するために、再度、英文の原文を添えて掲載したが、専門の方々にどれくらい読まれたかは、わからない。政府（厚生省）やメディアは、たとえ読んでも無視するだろう。そこには「警告」として、「この製品は、人間や獣医の使用には向かない」と書いてある。

<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210524.pdf>

最近、このことについて書かれている「ファクト・チェック：モデルナの COVID-19 ワクチン」を読むと、「モデルナの製造による、新しいコロナウイルス・ワクチンには、生物発光物質に含まれる有機化合物のルシフェリン（蛍の発光物質）も、酵素ルシフェラーゼも、社会メディアの主張に反して、いっさい含まれていません。ルシフェラーゼは、2020年夏の、いくつかの COVID-19 研究には含まれていたものの、現在使用できるどんなワクチンにも、このどちらの成分も、含まれていません」と言っている。

この説明が信用できるかどうかは別にして、2年前には、この危険物質ルシフェラーゼに対する指摘が、モデルナ製品に対してなされ、彼らがそれに応えていたことがわかる。

にもかかわらず、わが国政府は、あたかも突貫工事のように、吟味も何もなしにワクチン接種を奨励し、現在も基本的にその方針を変えていないことは、周知のとおりである。

ルシフェラーゼ (luciferase) という言葉は、明かに「ルシファー」からきている。Lucifer とは、一般的にサタンという言葉で、特定の言葉で、「光の墮天使」と言われ、神に対する反逆者、神の創った宇宙を、策略によって我が物しようとする者を指している。

これを馬鹿げた宗教だと考えて嗤う人は、今世界中が、いかにウソ、プロパガンダ、暴力、戦争、グローバリズムによって支配されているかを、考えてみるだけでよい。

またこれを、そんな宗教は西洋のものだろう、日本には日本の宗教がある、という人は、いかに世界中の宗教が、同じ教えを説いているかを知るべきである。自分と神、自分と他者との分断や対立が間違いの元であることを、至るところで我々は教えられている。「分け^{なま}み^{たま}霊」(我々すべてが神の霊を分有している)「一切衆生悉有仏性」(宇宙万物のすべてが仏性をもっている)など…。

ルシファーは、この世界分断、敵対、反逆の象徴であり、同時に生きた実体でもある。それは無神論や唯物論の精神であるが、その実態は、反逆的な、神に恨みをもつ共産主義である。若い頃のマルクスは「私は、あの天上に君臨する者(神)に向かって復讐したい」と言った。これこそ典型的な共産主義である。

安倍元首相の暗殺事件で——私はその犯人とされる人物を、真の犯人とは信じていない——騒がれた教団の教祖は、ルシファーを、この宇宙の悪の中心に置き、それと戦ってきた。ルシファーは、我々をずっと支配してきた闇の帝王であったが、その王座はいま傾きかけている。(ヴァチカンも、その存在の権威を認め、その地下で行われるミサにおいて、ラテン語で「ルチフェル」と呼び掛けている。)

今、我々の世界は、霊的にも現実的にも、あらゆる点で急速に変わりつつある。我々の死後の世界の最終的な解放である「成仏」は、どのようにして起こるのかについて、最近、ますます多くの人々が考えるようになった。またこの時代には、一切の隠し事ができなくなると言われていた予言が、その通りになっている。これは一つの、宇宙そのものの進化であって、その趨勢に抗うことはできない。かつて、あまりにも馬鹿々々しいと思われた、「霊界通信」のようなものも、夢ではなくなってきた。

今、あらゆる精神的に健全な警告者たちが、我々に向かって説いていることは——「**あなたの魂を向上させよ、それが我々の生まれてきた目的である**」ということである。この忠告は、この上なく貴重である。これを無視して、昔どおりの唯物論精神科学などを信じて生きる人々は、確実に時代遅れとなる。ほんの数十年前まで、ダーウィン信者だったような大勢の人々は、今度こそ、それを棄てざるを得ないだろう。彼らは、この時代の風向きの変わりように驚いているであろう。しかし驚く能力のある人は救いの余地がある。頭が硬化して、その能力をもたない人々、あるいは、歪んだ教育を仕事にしてきた、メディアや政界や学界の、無神論者の方々は、突如、行き場を失って、精神に異常をきたすかもしれない。1848年の『共産党宣言』が言ったような、共産主義という危険で不気味な「妖怪」が、いまだに、このあたりを徘徊している。よくよく注意されたい。——以上

